

2009年度	科目名	担当教員	学期	履修年次	単位
学部 **学科	心理学実験実習 (通年)	**, ****	通年	2~3	4

【授業の到達目標】

心理学における実験的研究の基礎を修得する。そのため、心理学の基礎実験・実習を経験するとともに、得られたデータを分析・考察して実験報告書(レポート)に毎回まとめることを通じて、実験的技法・実証的手法の体系的な知識を確実に身につける。

【講義概要】

心理学の基礎的な実験としてよく知られているものを取り上げる。知覚・認知・社会等の領域を中心に、実験・観察・調査等の方法について、実験・実習の実験者および研究対象者(実験参加者、調査協力者等)として参加体験する。なお、卒業論文・卒業研究に直接つながる位置づけの科目ではない。

【授業計画】

第1回 前期初回ガイダンス

《実験の部 知覚》

- 第2回 ミューラー・リヤー錯視
- 第3回 触2点閾の測定
- 第4回 重量弁別閾, 重さの感覚尺度
- 第5回 大きさの恒常性
- 第6回 仮現運動

《実験の部 生理》

- 第7回 ポリグラフ
- 第8回 脳波・事象関連電位
- 第9回 反射・反応時間

《調査・観察の部》

- 第10回 社会的態度尺度の構成(サー斯顿法/リッカート法)
- 第11回 イメージの測定(SD法)
- 第12回 子どもの行動観察(含動画教材)
- 第13回 パーソナルスペースの観察

- 第14回 前期まとめ
- 第15回 予備日

第16回 後期初回ガイダンス

《実験の部 認知》

- 第17回 短期記憶・系列位置効果
- 第18回 ストループ効果-認知的葛藤-
- 第19回 心的回転
- 第20回 鏡映描写-学習の転移-

《実験の部 社会》

- 第21回 囚人のジレンマ-ゲーム理論-
- 第22回 錯誤相関
- 第23回 ヒューリスティック判断
- 第24回 印象形成

《心理検査の部》

- 第25回 性格検査質問紙法(ビッグファイブ/YG性格検査)
- 第26回 知能検査(集団式/個別式)
- 第27回 性格検査作業検査法(内田クレペリン)
- 第28回 性格検査投影法(HTP/樹木画/SCT)

- 第29回 後期まとめ
- 第30回 予備日

《科目担当者向け》

注1) 原則として、《実験の部》、《調査観察の部》、《心理検査の部》の上記3区分24課題より、最低●課題を選択して実施すること。その際、各区分から最低●課題を選択すること。

注2) カッコ内に課題が複数あるものはいずれかを選択してもよい。

【成績評価方法】

毎回レポートを必ず提出すること（全24回）。出席点とレポートで100%の評価をおこなう。原則として全課題に実験者・実験参加者として実習を体験し、指定期限内に毎回レポートを提出した場合に限って、成績評価対象となる。

レポートは、原則として各課題の目的、方法、結果、考察、引用文献などの項目に分けて記述され、科学論文の要件を満たすことが求められる。したがって、指導教員の指示に沿って作成せねばならない。

【教科書】

『****』、日本心理学会****編、***書店

【参考書】**【準備】**

実験器具の関係で、**名程度のグループに分かれて実習する。データの分析に統計的な手法を用いるため、「認定心理士」資格の「基礎科目 b」（心理学研究法）をあわせて履修することが望ましい。

【その他】

「認定心理士」資格では、「基礎科目 c」（心理学実験実習）に区分される科目である。

2009年度	科目名	担当教員	学期	履修年次	単位
学部 **学科	心理学実験実習（前期）	**, ****	前期	2～3	2

【授業の到達目標】

心理学における実験的研究の基礎を修得する。そのため、心理学の基礎実験・実習を経験するとともに、得られたデータを分析・考察して実験報告書（レポート）に毎回まとめることを通じて、実験的技法・実証的手法の体系的な知識を確実に身につける。

【講義概要】

心理学の基礎的な実験としてよく知られているものを取り上げる。知覚・認知・社会等の領域を中心に、実験・観察・調査等の方法について、実験・実習の実験者および研究対象者（実験参加者、調査協力者等）として参加体験する。なお、卒業論文・卒業研究に直接つながる位置づけの科目ではない。

【授業計画：△曜日の3, 4, 5時限】

第1回 オリエンテーション

◇ ◇ ◇

第2回 ミューラーリヤー

第3回 知覚の恒常性*

第4回 重さの弁別

第5回 触2点閾*

◇ ◇ ◇

第6回 ストループ効果

第7回 系列位置効果

第8回 ワーキングメモリ*

◇ ◇ ◇

第9回 性格テスト：質問紙法（5因子テスト、新性格検査法等）

第10回 性格テスト：投影法（文章完成法もしくはバウムテストくらいか）*

◇ ◇ ◇

第11回 SD法（イメージ測定）

第12回 社会的態度（リッカート法、サーストン法）*

◇ ◇ ◇

第13回 行動観察 A（他者、社会）

◇ ◇ ◇

第14回 まとめ（1）

第15回 まとめ（2）

注）*が付いているものは別の課題に換えてもよい。

【成績評価方法】

毎回レポートを必ず提出すること（全12回）。出席点とレポートで100%の評価をおこなう。原則として全課題に実験者・実験参加者として実習を体験し、指定期限内に毎回レポートを提出した場合に限って、成績評価対象となる。

【教科書】

『○○○○』, □□□□著

【参考書】

『○○○○』, □□□□著

【準備】

実験器具の関係で、**名程度のグループに分かれて実習する。データの分析に統計的な手法を用いるため、「認定心理士」資格の「基礎科目 b」（心理学研究法）をあわせて履修することが望ましい。また、「心理学実験実習（後期）」も履修すると、学習効果がより高まると期待される。

【その他】

「認定心理士」資格では、「基礎科目 c」（心理学実験実習）に区分される科目である。

2009年度	科目名	担当教員	学期	履修年次	単位
学部 **学科	心理学実験実習（後期）	**, ****	後期	2～3	2

【授業の到達目標】

心理学における実験的研究の基礎を修得する。そのため、心理学の基礎実験・実習を経験するとともに、得られたデータを分析・考察して実験報告書（レポート）に毎回まとめることを通じて、実験的技法・実証的手法の体系的な知識を確実に身につける。

【講義概要】

心理学の基礎的な実験ではあるが、やや応用的なものを取り上げる。知覚・認知・社会等の領域を中心に、実験・観察・調査等の方法について、実験・実習の実験者および研究対象者（実験参加者、調査協力者等）として参加体験する。なお、卒業論文・卒業研究に直接つながる位置づけの科目ではない。

【授業計画：△曜日の3、4、5時限】

第1回 オリエンテーション

◇ ◇ ◇

第2回 メンタルローテーション

第3回 仮現運動

◇ ◇ ◇

第4回 鏡映描写

第5回 概念学習

第6回 思考バイアス（あるいは問題解決）

◇ ◇ ◇

第7回 知能テスト：集団式

第8回 知能テスト：個別式（必要に応じて2回）*

◇ ◇ ◇

第9回 ゲーム理論（囚人のジレンマ）

第10回 パーソナルスペース*

◇ ◇ ◇

第11回 生理指標、脳計測

第12回 面接

第13回 行動記録B（自己、内省、プロトコル）

◇ ◇ ◇

第14回 まとめ（1）

第15回 まとめ（2）

注）*が付いているものは別の課題に換えてもよい。

【成績評価方法】

毎回レポートを必ず提出すること（全12回）。出席点とレポートで100%の評価をおこなう。原則として全課題に実験者・実験参加者として実習を体験し、指定期限内に毎回レポートを提出した場合に限って、成績評価対象となる。

【教科書】

『○○○○』, □□□□著

【参考書】

『○○○○』, □□□□著

【準備】

実験器具の関係で、**名程度のグループに分かれて実習する。データの分析に統計的な手法を用いるため、「認定心理士」資格の「基礎科目 b」（心理学研究法）をあわせて履修することが望ましい。また、「心理学実験実習（前期）」も履修すると、学習効果がより高まると期待される。

【その他】

「認定心理士」資格では、「基礎科目 c」（心理学実験実習）に区分される科目である。

2009年度	科目名	担当教員	学期	履修年次	単位
学部 **学科	心理学実験実習（半期のみ）	**, ****	半期	2～3	2

【授業の到達目標】

心理学における実験的研究の基礎を修得する。そのため、心理学の基礎実験・実習を経験するとともに、得られたデータを分析・考察して実験報告書（レポート）に毎回まとめることを通じて、実験的技法・実証的手法の体系的な知識を確実に身につける。

【講義概要】

心理学の基礎的な実験としてよく知られているもののうち、必要最低限の課題を厳選して取り上げる。知覚・認知・社会等の領域を中心に、実験・観察・調査等の方法について、実験・実習の実験者および研究対象者（実験参加者、調査協力者等）として参加体験する。なお、卒業論文・卒業研究に直接つながる位置づけの科目ではない。

【授業計画：△曜日の3, 4, 5時限】

第1回 オリエンテーション

◇ ◇ ◇

第2回 ミューラーリヤー

第3回 重さの弁別

第4回 メンタルローテーション

◇ ◇ ◇

第5回 ストループ効果

第6回 系列位置効果

第7回 概念学習

◇ ◇ ◇

第8回 性格テスト：質問紙法（5因子テスト、新性格検査法等）

第9回 知能テスト：集団式

◇ ◇ ◇

第10回 ゲーム理論（囚人のジレンマ）

第11回 SD法（イメージ測定）

◇ ◇ ◇

第12回 生理指標，脳計測

第13回 行動観察 A（他者，社会）

◇ ◇ ◇

第14回 まとめ（1）

第15回 まとめ（2）

【成績評価方法】

毎回レポートを必ず提出すること（全12回）。出席点とレポートで100%の評価をおこなう。原則として全課題に実験者・実験参加者として実習を体験し、指定期限内に毎回レポートを提出した場合に限って、成績評価対象となる。

【教科書】

『○○○○』，□□□□著

【参考書】

『○○○○』，□□□□著

【準備】

実験器具の関係で、**名程度のグループに分かれて実習する。データの分析に統計的な手法を用いるため、「認定心理士」資格の「基礎科目 b」（心理学研究法）をあわせて履修することが望ましい。

【その他】

「認定心理士」資格では、「基礎科目 c」（心理学実験実習）に区分される科目である。